

## 【肝がん地域連携パス】

肝がん地域連携パスについて、次のように運用させていただきますので、ご協力よろしく  
お願いいたします。

### 1. 対象患者

肝がん地域連携パスの対象患者さんは、原則として次の要件を満たした方です。

- ① 県立広島病院で手術を施行(初回)
- ② 原発性肝がん(肝細胞がん, 肝内胆管癌など)の症例

### 2. パス導入時の連絡

患者さんに地域連携パス導入の同意が得られれば、担当医またはパス担当者より連携  
医療機関の先生へ電話にて連携の依頼をさせていただきます。

### 3. 県立広島病院への定期受診など

術後2年目までは、3~6ヶ月ごと、3年目以降は6か月ごとに県立広島病院へ受診  
し、腫瘍マーカーと腹部エコー(3ヶ月ごと)・CT(3~6ヶ月ごと)・上部消化管内視鏡  
(1年ごと)の検査を実施します。

ただし、同月に連携医療機関で検査を実施している場合は、重複のないよう当院での  
検査は実施しません。検査データを当院まで郵送・FAXもしくは、患者さんに持参して  
いただくようお願い致します。

進行度や他の疾病などによってはスケジュールが変わることがあります。

### 4. 連携医療機関の先生にお願いする診療

3ヶ月ごとに腫瘍マーカー(肝細胞癌の場合はAFP/PIVKA-II, 肝内胆管癌の場合は  
CEA/CA19-9)を含む血液検査をお願いします。検査データを当院まで郵送・FAXもしく  
は、患者さんに持参していただくようお願い致します。

- ① 血液検査を見ながら、適宜、強ミノC投与など肝炎の鎮静化を図り、可能であれば  
IFNなど抗ウイルス療法をお願いします。
- ② 薬剤の投与・変更・追加
- ③ 高血圧症・脂質異常など他疾患の管理

※検査データなど診療情報を当院へ送付いただきますようお願い致します。その際、貴院  
においては、月1回を限度として『がん治療連携指導料300点』を算定することがで  
きます。(パス導入時にがん治療連携計画策定料を算定したものに限りませぬ。)

### 5. パスの期間

最終治療から5年間を目安にし、進行度や病状を考慮して継続する場合があります。

### 6. バリエーション

- ① 死亡
- ② 他病による病状悪化
- ③ 患者事情による県立広島病院もしくは連携医療機関への定期受診困難時

## 7. その他

急激な transaminase の上昇、黄疸の出現、意識障害、消化管出血などありましたら、定期受診を待つことなく県立広島病院担当医へご紹介ください。

2021年7月改訂